

コープみらいでは、「忘れない、伝える、続ける、つなげる」を合言葉に被災地支援を続けてきた視点から、組合員の皆さんに役立つ情報をシリーズで発信しています。1995年1月に発生した阪神・淡路大震災は、大都市直下型の災害として大きな被害と長期の混乱をもたらしました。このときの被害や支援活動の経験から、現在の災害対策へつながっていること、学べることも多くあります。今回は、阪神・淡路大震災の当時の写真を見ながら、わたしたちの備えについて考えてみましょう。

2021年3月11日で東日本大震災から10年

阪神・淡路大震災から学ぶ

阪神・淡路大震災とは？

阪神・淡路大震災は、1995年1月17日午前5時46分に発生し、主に兵庫県・大阪府・京都府の地域に甚大な被害をもたらしました。日本で初めての近代的な大都市における直下型地震であり、6,434人の犠牲者が出るなど、被害規模はその後2011年に発生した東日本大震災に次ぐ大きさとなりました。また、復旧の長期化に伴い、産業・都市機能、生活などにさまざまな影響もおよぼしました。

行政・自治体・民間・市民が連携して被災地(被災者)支援をするためのネットワークづくりの大切さは、このときの支援活動の経験から学んだことです。

また、この震災が契機となり、災害ボランティアが定着したり、震度階級に「5強」などが新設されたりもしています。

コープみらい(当時はコープとうきょう)も支援物資・支援車両をもって81名の職員が被災地に入り、手探りで支援に取り組みました。



商店街の火災跡



高速道路の倒壊

写真提供：神戸市

阪神・淡路大震災「1.17の記録」から考えてみましょう

イメージ
 してみよう
 備えにつなげよう

神戸市ではホームページで阪神・淡路大震災の記録写真や動画を公開し、広く減災・防災への備えや啓発に取り組んでいます。当時の記録を見て、みなさんが毎日歩いている生活道路や大通りは震災のときどのようなことになるか、イメージしてみましょう。建物は？ 備蓄品は？ ぐらひは？ …など、イメージしていくと今備えるべきことが少しずつ見えてきます。例えば下の写真を見て、あなたや家族にとってどんな注意や備えが必要だと感じますか？ ぜひ家族や友達と話してみましょう。



生活道路の被害の様子

普段歩いている生活道路、塀や看板、屋根瓦など、大規模震災時にどうなるかイメージしながら歩いてみましょう。リスクから身を守る視点で、駐車場や開けた公園など落下物を避けられる場所があるか、確認してみましょう。



給水の様子

水道が止まったとき、飲料水だけでなく、洗い物・洗濯・トイレ・生活用水を確保するには？ という視点で考えてみましょう。大人が1日に必要な水約2リットル+生活用水をどのように家まで運びますか？ 上着にタンクを包んで背負ったり、上着を広げて二人で持ったりという方法もあります。

その他の記録はこちらからご覧いただけます

[阪神・淡路大震災「1.17の記録」](#)

[検索](#)

コロナ禍での避難生活を考えよう キーワードは「避難所を非難所にしない」

これからは新型コロナウイルス感染症の対策も課題となります。避難所に避難しなくてはならなくなった場合、どのようなものがいいのか、家族で話し合ってみましょう。

また、感染への過度な不安や恐れから特定の人や地域・職業に対して偏見を持ったり、非難をするような「非難所」となってしまうと、疎外されたくないために感染を隠し、結果として感染を拡大させてしまうことも考えられます。

避難所を非難所にしないために…対策は「行動」と「心」の両面から

- 信頼できる発信元からの情報を取得する
- 差別的な発言には同調しない
- どのような人に対してもねぎらいの心を持ち、敬意を払う
- 誰もがかかる可能性がある病気であることを理解する など

避難所での感染防止のために できることや心構えを紹介しています

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防や蔓延防止のための配慮について、避難する人や避難所を運営する人向けにまとめています。



*[NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)]WEBサイト内「ガイドライン」のコーナーよりダウンロードできます。



[JVOAD](#)

[検索](#)

災害用備蓄に おすすめ商品



CO-OP
 たっぶり長巻き
 トイレtpペーパー
 芯ありシングルの
 約4倍の長さ!

CO-OP
 くっつかないホイル
 洗い物を減らして
 貴重な水の節約にも



CO-OP
 こどもハブラシ
 歯磨きができない状況…
 ブラッシングするだけでも
 口内ケアに



CO-OP
 ドライフルーツ
 「甘味」「噛むこと」が
 心を落ち着かせて
 くれます